



トベラ [扉・海桐花]

5本の樹

常緑 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 トベラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い、雌雄異株

4～6月頃、枝先に白い花を咲かせる。花の香りはよいが、枝や葉に臭気があるため、イワシの頭とともに厄除けに使われる。海岸の砂地に自生する潮害に強い常緑低木。海岸の植物は都市の日照りや乾燥など過酷な環境に強いものが多く、分離帯や道路植栽によく利用される。



緑葉



花



実



実

Memo

節分に、扉に小枝を挿して鬼払い厄除けとしたことから'トビラノキ'⇒'トベラ'へと転訛した。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期				■								
果	実									■			
紅	葉												
施	肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
剪	定	■											

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	◎		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○				○	

ポイント

放任していてもこんもりとまとまる。萌芽力が弱いので放任した方がよいほど。秋になると雌株では種子が朱色に成熟し、野鳥の好餌となる。整姿は実が落ちた後にしたい。

剪定

萌芽力が低く、生長も比較的遅い。添景や寄せ植えにできるが、葉は丸味があり刈り込みには向かない。徒長枝の切り戻しや枝拔をしてこんもりとした樹形にまとめる程度がよい。

病虫害

カイガラムシやトベラキジラミが発生すると、その排泄物に「すす病(カビの一種)」が誘発され葉の表面が煤で汚れたようになる。加害虫とカビ両方併せて駆除する。

呼べる鳥



シロハラ・[メジロ](#)・エナガ
ルリビタキ・[アカハラ](#)・[オナガ](#)
イソヒヨドリ